



祐介の目

浦項市の慰安婦像

韓国国内ならまだしも姉妹都市サンフランシスコに慰安婦像を設置されたことにより大阪の吉村市長は姉妹都市解消を表明した。交流の実態は乏しく、提携解消のデメリットは少ないと判断したのだろう。同志社大学の村田晃嗣教授は「毅然とした態度に見えるかもしれないが、自治体が当事者意識を持って外交に関わるという観点からすれば短慮」と指摘している。同じく慰安婦像のある釜山市の姉妹都市・福岡市は「耳の痛い事も言う」と度々懸念を伝えている。

実は福山の姉妹都市・浦項市にも2年前に慰安婦像が建てられている。私は慰安婦像を否定はするが、拙速な姉妹都市解消には賛成できない。なぜなら平成8年以来、浦項市からは毎年職員が福山市役所に派遣されている。今年で通算11人目、毎年優秀な職員が派遣され両市の交流に尽力されている。

No.76

大田ゆうすけ

(福山市議会議員)

毎月1日号に掲載

40年前のポスコ製鉄所へ技術支援以来の姉妹都市提携、浦項花火大会や福山ばら祭において相互訪問し、私も昨年の花火大会にて初めて浦項を訪問した。郊外には九龍浦という旧日本人町が保存されており、100年前は多くの日本人が住んでいたことを知った。軀の朝鮮通信使のユネスコ記憶遺産認定や日韓トップ囲碁対局など、福山と朝鮮半島は長い交流の歴史がある。隣国との協調が国際紛争抑止の基本であり、地政学的に見れば北朝鮮、中国等の脅威に対抗するために日韓の絆は重要だ。日韓の関係悪化を喜ぶ国や団体が情報戦を世界各国の自治体に仕掛けて政治を動かしている。その一つが世界に拡散される慰安婦像であり、姉妹都市解消は彼らの思うツボだろう。

昨年末に退任された除張恩・駐広島韓国総領事も浦項出身であり、日韓の国交正常化50年の記念行事を各地で開くなど、両国の関係改善に尽力された。除氏は3年9月9日の任期を振り返り「人と人との信頼は国家間の関係を乗り越える力がある」と述べられていた。福山市が当事者意識を持って外交に関わるチャンスを潰してはならない。